



大牟田市立銀水小学校 学校便り

令和6年 5月14日 第2号

学校教育目標

夢や希望をもって粘り強く挑戦し、
新しい時代を切り拓いていく子どもを育成する。

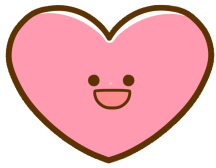
『みんなの笑顔がかがやく 銀水小学校』をめざして

風薫る5月。心地よい風が吹き抜ける季節となりました。
銀水小学校で目指している「みんなの笑顔が輝く」ために大切なことについて考えているとき、慶応義塾大学大学院教授の前野先生の本に出会いました。前野先生は、人の幸せの要因はどのようなものであるかを人々の現実から研究をされています。その中で、「幸せ」を感じている心の在り方として、4つの因子を紹介してあります。それは、次の四つです。

- ①「やってみよう(自己実現と成長)」
- ②「ありがとう(つながりと感謝)」
- ③「なんとかなる(前向き)」
- ④「ありのままに(自分らしさ)」

そこで、「幸せに生きるための力を持った子どもたち」を育んでいくために、まずは、子どもたちの周りにいる私たち大人が、そんな生き方を体現していくこと、そんな後ろ姿を子どもたちに見せていくことが大切だと改めて感じました。

そして、学校においても、子どもたちが、四つの心の働きに向かうことができるような活動や関わり方を工夫してまいります。



『いじめ』の未然防止、早期発見

『思いやりの心』の対極にあるものは、「いじめ(自己中心的な、意地悪な心)」であると考えます。本校の「いじめ防止基本方針」では、「いじめは、どの子どもにも起こりうる可能性がある最も身近で深刻な人権侵害であるとの認識と危機感を持ち、まず、いじめの未然防止の観点から学校の教育活動全体を通じて、いじめを生まない風土をつくる」ことを掲げています。

毎日の教育活動では、子どもたちをいじめに向かわせないために、次のことに重点的に取り組んでいます。まず、学習規律(話を聴く等)の確立、人間関係(お互いのよさを認め合う等)の構築を通して、どの子どもも安心して授業を受けることができる「安心・安全な学級づくり」です。次に、基礎的・基本的な学力の定着を図る「わかった・できたを実感できる授業」です。最後に、道徳や学級活動、総合的な学習の時間、行事等を通して「心の教育の充実」です。これらにより、自分がされていやなことはしない、いじめを許さない正しい心を持つ、困った人をすすんで助ける優しい心を持つ、そしてどんな時にも友だちのことを優しく思いやることのできる

「銀水っ子」の育成を目指します。

また、早期発見の取組として、毎月一回、



教職員によるチェックリストを用いた確認と、児童による学校生活アンケートを行っております。加えて、毎日の授業のなかでも、絶えず子どもたちの変化を捉えることができるよう努めています。

特に、毎月実施するアンケートでは、児童間の些細なトラブルなど、少しでもいじめにつながる兆候が見られる場合は、直ちに学級担任が、本人や関係者から内容の聞き取りと指導を行い、管理職へ報告するとともに、場合によっては、ご家庭への連絡を行うよう体制を整えています。

さらに、保護者の皆様にお願いし、学期に一回「学校生活問題の早期発見シート」による調査を実施しております。これは、子どもたちの笑顔を奪ってしまいういじめ等の早期発見、早期対応に努めるとともに、子どもたちのよりよい人間関係づくりに生かしていくために実施します。より多くの目で見守り、できるだけ早く見つけ、迅速な対応につなげたいと思います。ご不安な点がございましたら、学校までご相談ください。

ようこそ銀水小学校へ！歓迎遠足

四月二十六日、一年生を迎える歓迎集会を実施しました。一年生の皆さんは、元気に自己紹介することができました。また、ゲームやダンスで楽しい時間を過ごすことができました。遠足は、雨の予報のため校内遠足となりましたが、一年生は、六年生とおいしいお弁当をいただきました。

やさしい六年生のお兄さんお姉さんのおかげで、一年生は、スムーズに小学校生活をスタートすることができています。



歓迎集会

今後の予定

○児童引き渡しシミュレーション

五月 十五日(水)

○田隈中学校区親睦競技会

五月二十四日(金)

・会場…羽山台小学校

・参加…四・五・六年生

※詳細は、配布しております
お便りを参照ください。